



第2回学校評価の結果を受けて～結果及び改善策、学校としての方針等【その2】

Ⅲ キャリア教育

児童:あなたは、自分の目標や将来の夢、卒業後の進路について、家族と話すことがありますか【61%】

保護者:お子さんの目標や将来の夢について、家族で話し合うことがありますか【77%】

本校では、小学校から高校までの成長を記録する「キャリア・パスポート」を活用し、自分らしさや将来の生き方について考える活動を行っています。これは、過去の自分を振り返り、自らの成長を実感するための大切な「自分だけの記録」です。現在の状況を分析すると、目標をもつことができている児童は一定数いるものの、それをご家族に共有するまでには至っていない現状があります。小学校段階でのキャリア教育において、最も強力な支援は「身近な大人による承認」です。キャリア・パスポートは学校だけで完結するものではなく、ご家庭との対話を通じて完成するものです。持ち帰った際には、ぜひ内容を一緒に眺めてみてください。子供から進路の話を持ち出すのは照れくさく、難しいものです。保護者の皆様から「こんなことが好きなんだね」「ここを頑張ったんだね」と、きっかけを作っていただければ幸いです。保護者だからこそかけられる励ましの言葉が、お子様の自己肯定感と未来への前向きな力になります。

Ⅳ 健康な体づくり・学校安全・危機管理

児童:あなたは、感染症や熱中症に気をつけながら、休み時間に運動や外遊びをしていますか【60%】

学校が最も大切にすべき使命は「子供の命と安全を守り抜くこと」です。本校では施設等の安全確保に加え、熱中症や感染症への対策に万全を期しながら、体力向上のための機会を積極的に創出しています。アンケート結果では、夏場の熱中症警戒アラートや冬場のインフルエンザ流行に伴う活動制限の影響もあり、運動に親しむ児童の数値は一時的に低くなっています。しかし、気候の良い日には、多くの児童が校庭を元気に駆け回っており、本来はどの学年も運動や外遊びが大好きです。特に夏季には、体育館のエアコンを活用し、暑さ指数(WBGT)が高い日でも学年ごとのローテーションで体育館を開放するなど、安全に動ける場を確保してきました。運動や外遊びは、体力だけでなく積極性やコミュニケーション能力を育む貴重な時間です。今後も季節に応じた安全対策を講じながら、子供たちが生き生きと活動できる環境づくりに努めていきます。

保護者:お子さんは、好き嫌いしないで3食食べるなど、健康的な食生活を送っていますか【70%】

「食育」とは、様々な経験を通じて「正しい食の知識」と「選ぶ力」を育み、生涯にわたる健康の土台を作る教育です。本校では給食の時間を中心に、学力や体力の向上にもつながる食育を推進して来ましたが、アンケート結果からは、児童の約2割、保護者の皆様の約3割が「健康的な食生活を送れていない」と感じていることが分かりました。お忙しい毎日の中、食生活を整える難しさもあるかと拝察いたしますが、まずは「1日3食」のリズムを大切にしてください。特に朝食は、1日の脳と体のエネルギー源です。朝食を抜くと、集中力の低下や心の不安定さ、体力低下を招くことが分かっています。食育の基盤は日々の家庭生活にあります。お子さんの健やかな成長のため、十分な睡眠と朝食の確保など、改めて生活習慣の見直しにご協力をお願いします。

第2回学校評価を終えて

第2回学校評価の詳細は、学校Webページをご覧ください。

教育には、学校・家庭・地域が役割を分担し連携することが不可欠です。本校は「開かれた学校」として、教育活動や子供たちの様子を積極的にお伝えしていきます。学校からの配布物や学校Webページをぜひご覧いただき、お気付きの点があれば遠慮なく校長までお寄せください。今後も皆様の声に耳を傾け、一層の連携強化に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いします。

